

# 産地パワーアップ事業の取組事例

(北海道)

## 取組の概要

取組の概要 : 種馬鈴しょの販売額の増加  
計画作成主体 : 浦幌町地域農業再生協議会  
対象品目 : 種馬鈴しょ (産地面積: 42.3ha)  
主な取組主体 : 浦幌町農業協同組合  
成果目標 : 販売額の10%以上の増加(10aあたり)  
助成金の活用 : 整備事業(種馬鈴しょ選別貯蔵施設)  
状況

## ポイント

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種の導入と併せて、種馬鈴しょ専用の選別貯蔵施設を整備することで、健全な種馬鈴しょの安定供給と地域作物生産振興を実現。種馬鈴しょ作付面積の拡大と販売額50.3%以上の増加を図る。

## 地区の概要



## 産地の現状と目標

現状 : H27年度

作付面積 : 37.3ha(生産量1,148t)  
販売額 : 131,948円/10a

ジャガイモシストセンチュウが発生し、計画的な地域作物生産振興を行う上で大きな障壁となっており、蔓延防止に向けた健全種子の生産・供給体制の整備が急務。

目標 : H30年度

作付面積 : 42.3ha(生産量1,355t)  
販売額 : 198,281円/10a

種馬鈴しょ専用の選別貯蔵施設を整備し、健全種子の安定供給によりジャガイモシストセンチュウ等病害虫の蔓延を防止。小麦からの転換で、種馬鈴しょ作付面積の拡大と販売額の増加を図る。

## 推進体制

地域の関係者(浦幌町、浦幌町農業協同組合、種馬鈴薯採種組合、農業関係者等)が一体となり、事業を推進。



## 事業効果

種馬鈴しょ専用の選別貯蔵施設を整備することで、健全な種馬鈴しょの安定供給が可能となり、ジャガイモシストセンチュウ等病害虫のまん延防止と地域作物生産振興を実現。

種馬鈴しょ作付面積拡大により、収穫量及び販売額が増加し、種馬鈴しょの産地強化を実現。

~ 10aあたり販売額 ~

